

金剛地区施設等再整備基本構想 を策定しました



② 金剛地区再生室（内線459）

① 金剛中央公園

※各イラストは基本構想で示す方向性を市がイメージ化したものです（実際の整備内容ではありません）。

本市金剛地区（高辺台、久野喜台、寺池台）は、開発から半世紀以上が経過し、人口減少や少子高齢化、施設の老朽化などの、いわゆるニュータウン問題が顕在化しています。

そのような中、本市では、平成29年3月に「金剛地区再生指針」を策定し、持続可能な都市の形成に向けた、住民等が主体となった地区活性化の取り組みを進めてきました。

このたび、戦略的・中長期的な視点でまちづくりを進める観点から、老朽化した施設などの再整備や都市空間の再編などによる都市機能の高度化などに向けた、コンセプト、施設・エリア毎の方向性と導入機能を示す「金剛地区施設等再整備基本構想」を策定しました。

なお、同構想は、市ウェブサイト（金剛地区再生室のページ）からご覧いただけます。



計画期間

おおむね10年間（令和13年度まで）

対象区域

- ① 金剛中央公園
- ② 金剛銀座街商店街
- ③ 南海金剛駅周辺
- ④ 寺池公園

コンセプト

同構想では、再整備に向けた6つのコンセプトを設定しています。

6つのコンセプト	
1. 若者・子育て世代の定住促進	2. 誰もが安心して健康に暮らせるまちづくり
3. 交流人口・関係人口の増加	4. 居心地が良く歩きたくなるまちなかを創出
5. 住民主体の多様な取組の創出	6. マルチパートナーシップによる多面的な魅力の創出

方向性と導入機能

コンセプトに基づいた、各対象区域の今後の方向性と導入する機能は次のとおりです。

① 金剛中央公園

■方向性 豊かで多機能な公園空間を創出

老朽化した既存施設については、子育て支援機能、健康増進機能、交流機能を備えた、地区のシンボルとなる多機能施設へと再編します。

公園空間については、多様な使いこなしを可能とする空間づくりを行い、多機能施設と連携した、豊かで多機能な公園空間へと再編します。



② 金剛銀座街商店街

■導入機能

・子育て支援機能・健康増進機能・交流機能・公園機能

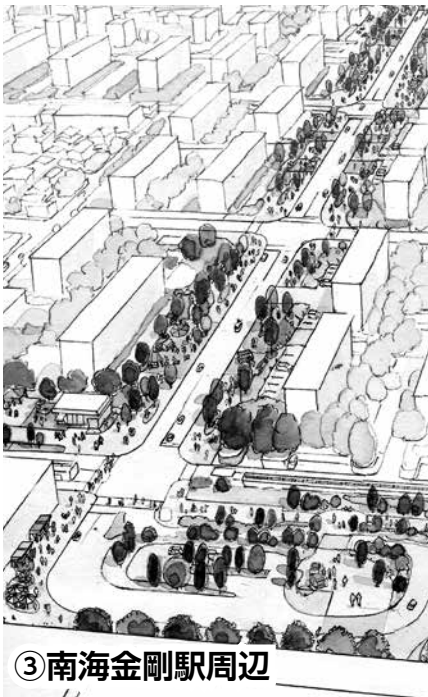
② 金剛銀座街商店街

■方向性 近隣商業地域を活かした賑わいと住民の「やりたい」が叶う空間を創出

金剛銀座街商店街については、UR都市機構と連携し、小規模店舗の充実などによる生活利便性の向上や、ふれあい大通りと一体的で人が長く留まる（滞留性）空間への再編による、近隣商業地域を活かした賑わいづくりや、住民の自己実現の場としての活用などについて検討します。

■導入機能

・生活利便機能・広場機能



③ 南海金剛駅周辺

③ 南海金剛駅周辺

■方向性 魅力的で利便性が高く滞留性のある駅周辺空間を創出

南海金剛駅前については、南海電気鉄道株式会社や大阪狭山市と連携し、生活利便性の向上や、賑わいや多様な交流が生まれる滞留性のある空間整備について検討します。

また、久野喜台1号公園における駅前空間と連動した生活利便機能の導入や、ふれあい大通りにおける賑わいと多様な交流が生まれる滞留性のある空間への再編について検討します。

■導入機能

・生活利便機能・交通拠点機能・歩行者利便増進機能

④ 寺池公園

■方向性 眺望を活かした住民主体の公園空間を創出

寺池公園については、地区住民が主体となった公園環境の整備を促進するなど、地区の象徴的な存在である寺ヶ池を活かし、地元で愛される水辺と緑などが眺望できる公園空間づくりを進めます。

■導入機能

・公園機能



④ 寺池公園

まずは、金剛中央公園を優先的に整備します

老朽化した既存施設が抱える課題への対応や若者・子育て世代の定住促進などに向けた機能導入を早期に実現する観点から、金剛中央公園の再整備を優先的に進めるものとし、令和4年度は、「金剛中央公園・多機能複合施設等整備基本計画」の策定に取り組み、詳細機能や施設規模などについて検討します。